

いのち 生命の力が輝く時 ～その2～

プライバシー保護等のため、
事実と少し変えています。

やりたいことがあるから動き始める子どもがいる。
どうにかしたいから、今できることから始める子どもがいる。
一方で、ひたすら眠り続けて壊れそうな自分を守る子どもがいる。
立ち止まる自分を受け入れる子どもは、必ず生命の力を発揮する…。

■自立するために必要なスキル？

学力・コミュニケーション能力・集団への
適応力・耐える力・生活リズムを整える力・
炊事や洗濯など基本的なことをする生活力・
整理整頓をして片付ける力等々…。

不登校やひきこもりをしている子どもが自立をしていくために、能力やスキルを身につけなくてはならないという考え方は根強いです。スキルが「ある程度」身につけていないと、進学や就職をしても困難を乗り越えることができず、また不登校・ひきこもりになる。だから、そうした能力やスキルを身につけさせることが必要という考え方です。

不登校・ひきこもりをしている人に限らず、その一つひとつのスキルを身につけるのはとてもむずかしいです。例えば、コミュニケーション能力。苦手な人にとっては、数回のセミナーを受けたくらいではコミュニケーション能力をつけることなどできません。ゲームのような活動を通してコミュニケーション能力をつけるセミナーに数回参加した青年が、「楽しかったけど役に立つとは思えませんでした。今、アルバイトをしています…」と、感想を話してくれました。

その他の能力やスキルも、簡単には身につけることはできません。いくつものスキルを身につけようと頑張る間に心が疲弊してしま

います。そうすると、自立するために生きているのか、幸せになるために生きているのかわからなくなります。

そもそも、私たちは苦手なことやできない事があると、常に克服しながら生活しているのでしょうか。ほとんどを横に置いて(避けて)生活をしているのではないのでしょうか。少なくとも、私は32年間の教員生活をそうして過ごしてきたと思います。でも、どうしても必要な事や、自分が克服したい事を選んでスキルを研いできました。必要なスキルとは、とりあえずは避ける力かもしれませんね。

■自立するために必要な事

会報190号で紹介したR Y O君は、人の目がとても気になる青年です。散歩をするのもつらいと言います。しかし、R Y O君は原付免許を取りました。様々な困難はありましたが免許を取って、バイクの練習をしています。

ガソリンスタンドでガソリンを入れようとした時に、お客さんがいるとドキドキするそうです。コンビニによると、若者がいるので緊張するそうです。他にも緊張する場面はたくさんあります。しかし、R Y O君はバイクを走らせています。夏の風を受けながら…。

バイクに乗れるようになったからといって、自立できるわけではありません。それは、

当然です。R Y O君は、自立するためにバイクに乗っているわけではありません。バイクに乗りたいたから乗っているのです。しかし、その体験を通して、R Y O君は確かに成長しています。

先日、彼から“あること”の相談を受けました。中学2年生の時に不登校をした後、苦しい日々を過ごしてきましたが、その数年間の生活を通して自分ができることや嫌ではないことが見えてきたのでしょうか。また、今の自分には無理なことがわかってきたのでしょうか。

■何のために生きているのか？

R Y O君は「将来自立したい」とは思っています。そのために「やりたくないこと」「嫌なこと」に常に挑戦しているわけではありません。それよりも、ミニコミ誌の編集会議に行き、バイクに乗っています。人の目が気になる自分におりあいをつけながら…。また、将来を見据え、「やりたいこと」「嫌ではないこと」を考えています。

つまり、今を生きることで将来に向けて歩んでいます。そのプロセスの中で様々なスキルが身につけています。

ところで、私たち親はどうでしょうか。子どもを自立させるために生きていないのでしょうか。こんな力をつけさせなくては、あんなこともできるようにしなくてはならないのでしょうか。親が存在するのは、スキルを身につけさせて子どもを自立させるためではないと思います。

親子である意味は、互いに幸せになる事ではないのでしょうか。

ひきこもりの 家族学習会

2017年9月22日と10月27日

主催：県こころとからだの相談支援センター

先日、こころとからだの相談支援センターより学習会の案内が届きました。興味のある方は、下記の問い合わせ先に連絡をして申し込みをして下さい。

<日時>

9月22日(金) 13:30~15:00

10月27日(金) 13:30~15:00

<場所>

県こころとからだの相談支援センター
別館2階研修室(大分市大字玉沢 908 番地)

<内容>

- ①講義…ひきこもりの基礎知識と家族対応、福祉制度の活用
- ②当事者の体験発表
- ③質疑応答

<参加費> 無料…定員があるので事前の申し込みが必要です。星の会の枠は10名となっています。「星の会の会員です」と言って申し込みして下さい。

<申し込み> 締切は9月8日(金)

097-541-6290(月~金の昼間)

おね
がい

原稿をお寄せ下さい

- 感想・体験 ●伝えたい情報
 - その他不登校に関すること
- <メール> toiwase@hoshinokai.net
<FAX> 0972-24-3557

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

ご寄付のお願い

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651

<加入者名> 不登校を考える星の会

8月の例会予定

- 昼の大分例会…都合でお休みです。
- 別府例会…都合でお休みです。
- 豊後大野例会…8月10日(木)13:00~16:00
- 津久見例会…8月11日(金)19:30~22:00
- 夜の大分例会…8月18日(金)19:00~21:30
- 湯布院例会…8月24日(木)19:30~21:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

会報発送作業

- 7月27日(木) 14:00~
- ジョイフル米良店
- お尋ねは河野さん
(080-5272-9360) まで